

事業計画書

事業名	道路空間の再編によるシンナカ彩生プロジェクト
実施場所	新仲見世商店街（沼津市大手町4丁目）
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年4月1日 ～ 2021年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

新仲見世商店街の老朽化したアーケード撤去にあわせて、デザイン性と利便性を兼ね備えて居心地がよく、空間利用を促しマネジメントする組織や仕組みも整った道路空間を再編することで、人が集い、憩い、交流し、賑わい、楽しめる場の創出を目指す。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

新仲見世商店街のアーケードが老朽化しており、令和2年度での撤去を予定している。単に撤去しただけでは商店街の魅力低下が避けられないことから、市が連携してソフトとハードの両面から道路空間の再編を図ることで、今よりも人が訪れる、魅力溢れた場を創出する。

また、アーケード撤去には多額の費用を要し、商店街として長期にわたって借入返済が必要となるが、会員の高齢化が著しく、商店街コミュニティの維持が困難になることが見込まれるため、道路空間を活かして、新たな人材の参画や組織化を目指すとともに、借入返済にも貢献する「稼ぐ」機能の導入検討にも取り組んでいく。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
※H31年度の活動内容（スタート支援）	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 ・アーケード撤去及び新整備の検討（市の道路設計との連携・調整） ・道路空間の活用検討（イベント活用やテーブル・イスの設置など） ・資金計画や組織化検討（→一部結論に至らず継続検討）
4月	1. 検討・取組テーマの整理 商店街関係者（地権者・テナント）、家守会社、行政等による協議
5～12月	2. 関係者による検討・取組み（※専門家による助言指導を予定） (1)統一感ある景観形成 ①優れた景観形成に向けた統一ルール化の検討 庇・看板等の設置やファサード改修における統一したルールを作ることで、優れた景観形成を図る。（※設置・工事は個々での負担を予定） ②個別の建物・店舗へのフォローアップ アーケード撤去後の風雨・日差し等の困りごとに対応するため、個別に

1~3月	<p>相談できる場づくりを行う。(→共通窓口でデザインコントロール)</p> <p>(2)道路空間の有効活用</p> <p>①道路空間活用の仕組み、制度化の検討 全国の先進事例等を参考に、行政(市や警察)等との協議を行う。</p> <p>②道路空間のマネジメント組織の検討 構成メンバーの選出・調整とともに、組織化を進める。道路空間を上手に使いこなし稼ぐ組織を創設する。 (※①② → 稼いだ資金を返済に充当、新たなプレイヤーの参画を期待)</p> <p>③購入設置する備品類の検討 道路上に設置するテーブル・イス・パラソル等の購入・配置・管理計画等を検討する。</p> <p>(3)コミュニティ再生と情報発信</p> <p>①道路空間におけるセルフリノベーションワークショップ 残存させ街路灯を取り付ける支柱の色塗りワークショップを開催し、商店街コミュニティの強化や市民等の愛着醸成を図る。</p> <p>②整備後のオープニングイベント 新たな空間に生まれ変わったことを市民等にPRするため、オープニングイベントを開催する。</p>
※別事業にて (ファンド対象外)	<p>5~8月頃 【商店街】アーケード撤去工事、街路灯改良工事ほか</p> <p>9~12月頃 【市】道路改良工事</p>

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
<p>老朽化したアーケードの撤去により安全性が確保されるとともに、魅力的な空間が新たに創出されることで、まちなかに賑わいや集客が生まれる。また、道路上で気軽にイベントや屋台出店が可能な場や仕組みが構築されることで、起業創業や空き店舗解消にも繋がる。さらには、老朽化したアーケード対応に苦しむ全国の商店街に、モデル的な解決手法を示すことが出来る。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>新仲見世商店街の南交差点歩行者通行量の増</p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>市が毎年行っている調査結果を確認する</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>市が進める「リノベーションまちづくり」と連携して事業を推進することで、大きな効果を得ることが期待でき、中心市街地の活性化に貢献できる。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>老朽化したアーケード撤去で通行者の安全性が確保されるとともに、歩行者専用道路というメリットを活かした管理・活用手法などを導入することで、まちなかの彩生(再生)に挑む。また、商店街関係者の高齢化という課題にも対応した事業である。</p>

先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>各地のアーケードは同時期に建設されたものが多く、老朽化対応に苦慮するケースも多いことから、こうした解決手法が確立できれば、全国的なモデルケースになる可能性を秘めている。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>商店街が面する道路を管理する市との連携により、道路の有効活用・多機能化で稼ぐ要素を付加し、またマネジメント組織を構築する中で、若い新たな人材の参画を促すことから、計画実現を図ることにより、民間主導による持続的なまちづくりが達成される。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>市と密接な連携のもと事業を進める予定で、高い実現性を有している。関係者が各々の役割を着実に果たすことにより、大きな効果が期待できる。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>老朽化したアーケード問題は長年の懸案であり、関係者の高齢化で、この機会を逃すと、この先は解決が非常に難しくなると考えている。商店街の持続的な発展のため、この計画を是非とも実現させたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p>
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。</p> <p>スタート支援で実施中の平成31年度は、専門家による指導のもと、令和2年度のアーケード撤去工事とその後の道路空間のあり方等を中心に、市などの関係者と協議・検討・計画策定を進めている。ハード関連の検討の中で、様々な課題が判明し多くの時間が割かれ、道路空間の活用に係る仕組みや制度、組織化といったソフト分野の検討が大幅に遅れている。</p> <p>このため令和2年度は、ハード整備の完了にあわせ、効果的なソフト環境も整えられるよう、道路空間の有効活用に関する検討を主軸に、引き続き協議・検討を進めていく。</p>
--

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

<p>※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。</p>
